

佐賀県での田植え体験。

蛙を見つけて童心に。



こばやし たか ゆき

# 小林鷹之 からの手紙

Vol.70

衆議院議員 小林鷹之 国政報告

討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行  
(千葉市花見川区・八千代市)

[kobayashi-takayuki.jp](http://kobayashi-takayuki.jp)

[info@kobayashi-takayuki.jp](mailto:info@kobayashi-takayuki.jp)

[X.com/kobahawk](https://x.com/kobahawk)

[www.facebook.com/hawk.kobayashi](https://www.facebook.com/hawk.kobayashi)

HP



## 移動政調会



週末には移動政調会。これまでに12都県をまわり、頂いた地元のご意見を政策に反映して参ります。



## 予算委員会



令和8年度の予算案について、自民党の政調会長として質問に立ちました。

## 衆議院選挙



今回の選挙も同僚の応援のため全国に。私自身の地元には初日と最終日の数時間。地元の皆様、ご支援ありがとうございました。

## 事務所移転のお知らせ

令和8年7月13日より下記住所に事務所を移転し、業務を開始することになりました。  
電話、FAX番号に変更はございません。  
お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



小林鷹之  
Profile

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員6期目。経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)。現在、自由民主党政務調査会長

地元  
事務所

〒276-0046  
千葉県千葉県八千代市大和田新田310  
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会  
事務所

〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室  
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

## 中東情勢

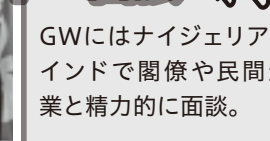


中東情勢に関する合同会議を精力的に開催し、提言を2回とりまとめ、補正予算案につなげました

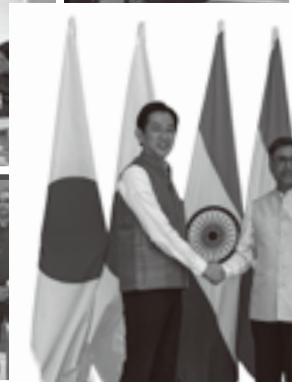


中東情勢に関して、党として米国、イラン、GCC、イスラエル各国と意見交換

## ナイジェリア・インドへ出張



GWにはナイジェリアとインドで閣僚や民間企業と精力的に面談。



# 近況報告

## 【衆議院総選挙】

2月の真冬の総選挙。皆様の温かいご支援のおかげで6期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は出陣式とマイク納め以外は、全国の応援に回るといふ厳しい選挙ではありましたが、地元議員団、後援会や選挙区内外からも力強いご支援を頂きました。自民党としても多くの議席を頂いたからこそ、政策実現に邁進することで負託に応えます。

## 【中東情勢への対応】

2月27日。自民党を代表し、衆議院予算委員会で令和8年度予算案について質疑に立ちました。党の政務調査会長として、公約の実現のため、成長投資に関係した提案型の質問をしました。

質疑翌日、急転直下でアメリカによるイランへの攻撃。わが国の原油輸入の9割以上を依存する地域での紛争であり、エネルギー安全保障に直結する事案です。政府と情報共有しつつ、党として関係部局を全て集める形での合同会議を速やかに開催。日本関連船のホルムズ海峡通過への外交努力、原油やナフサの調達、燃料油や電気・ガスの価格支援など、国民生活や産業を守るための緊急提言を2度とりまとめました。



米国とイランの交渉は継続中ですが、依然として先行きが不透明な状況です。石油やナフサの総量は確保していますが、現場からは資材の不足や価格高騰に対する不安の声、厳しい声を頂きます。いわゆる流通の「目詰まり」については、政府は流通の上流から下流からと全力で対応していますが、やはり石油やナフサの供給量を着実に増やしていく必要があります。

党としても、政府をサポートすべく動いています。米国、イラン、GCC(湾岸6か国)、イスラエルなどの大使と中東情勢の早期鎮静化に向けた率直な意見交換をし、各国からはそれぞれの国益をかけた主張と日本への期待も聞くことができました。

また、私自身はGW中にインドとナイジェリアに飛び、資源・エネルギー外交(3泊7日の強行軍でしたが...)。消費国ながらも供給余力のあるインドでは、わが国への石化製品の融通の要請を、アフリカ最大の産油国ナイジェリアでは世界最大級の製油所を持つ財閥トップと直談判し、石油化学製品や尿素などの供給要請を行い、共に前向きな回答を得ました。



政府は、自民党の提言に基づく形で、エネルギー価格の高騰対策など、「中東情勢等対策予備費」を中心とする補正予算の編成を含め、国民生活を守り抜くための対策を打っています。党の政策責任



者として、経済活動を停めることなく国民生活を守るために全力を尽くします。

## 【現場へ】

ほぼ毎週末、全国各地に講演や選挙応援で飛び回っています。訪問先ではできる限り地域の声に触れるべく、農林水産産業や製造業の現場に足を運んでいます。最近では、棚田での田植え(佐賀)、サクランボ栽培(山形)、畜産クラスター(宮城)、林業(岐阜)、半導体製造(広島)、アジア大会会場(愛知)、産後ケア施設(東京)などの視察とそれぞれの業を担う方々から課題や要望を伺っています。また、地方議員の皆さんと政策に関する意見交換(「移動政調会」と呼んでいます)を通じ、地域特有の政策課題も頂きます。これらの課題や要望については、党内、関係省庁などと対策を検討し、対応できたことについては現地にフィードバックするようにしています。

今国会も残り約1ヶ月となりました。中東情勢への対応に加え、給付付き税額控除や消費減税のあり方、インテリジェンス(非情報力)の抜本強化、皇室典範や憲法の改正などの多くの重要な政策課題にも取り組んでまいります。

令和八年六月吉日

自由民主党政務調査会長

森永浩人

山林鷹之